

## 市議会定例会

平成25年第1回常陸大宮市議会定例会が、2月26日から3月22日まで開会されました。この定例会では、次の議案の審議がされ、それぞれ可決、同意されました。

### ●市長提出議案

#### 平成25年度予算

- 常陸大宮市一般会計・特別会計（11会計）予算  
**条 例**
- 常陸大宮市新型インフルエンザ等対策本部条例
- 常陸大宮市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市営公園の設置及び管理に関する条例の

一部を改正する条例

- 常陸大宮市上水道事業特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

#### 平成24年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計・特別会計（8会計）補正予算  
**人 事** （敬称略）

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

和知 好美（高部）

#### そ の 他

- 茨城消防救急無線・指令センター運営協議会の設置について
- 市道路線の認定、廃止、変更について
- 指定管理者の指定について

### ●インターネットで議会映像（録画）が視聴できるようになりました●

平成25年3月より市議会定例会本会議の一般質問の様子がインターネットで視聴できるようになりました。

一般質問が終了しておおむね1週間後から1年間まで、市ホームページで24時間いつでも録画映像を見ることができます。

## 山方中学校竣工記念式典

山方中学校の新校舎が完成し、3月10日、竣工記念式典が行われました。

新校舎は、交流の場となるコミュニティストリートと呼ばれる多目的スペースや大階段を中央に配置し、木材の積極的な使用や外光を多く取り入れる構造など「ぬくもり」を感じさせる校舎です。

また、蓄熱式の暖房や太陽光発電等を設置し、環境負荷の少ない校舎となっています。

三次市長は「新校舎で新たな歴史を刻み、郷土でも輝くことのできる人材、あるいは世界に大きく羽ばたく人材として育つことを祈念します」と、生徒たちにメッセージを贈りました。



## 善意をありがとう

《新入学児童の安全を願って》



茨城みどり農業協同組合  
通学帽



大宮地区交通安全協会  
ランドセルカバー



## 茨城県国際化推進奨励賞授賞式

2月18日、茨城県国際化推進奨励賞授賞式において、常陸大宮市国際交流協会が茨城県国際化推進奨励賞を受賞しました。

長年にわたり、様々な活動を通して市の国際交流活動に貢献してきた功績が認められ、今回の受賞となりました。

今後は、新しい協会事業の展開や他市国際交流協会との連携など、より進んだ取り組みが行われていくことが期待されています。



▲左から飛田尚久総務・広報委員長、鈴木高一郎会長、久和野泰之交流委員長



茨城大学教育学部  
特任教授  
齋藤 典生さん

### 年々進化する学生と、市民の交流

今年3月、5回目を迎えた「常陸大宮アクションミーティング2013」に参加しました。「年々進化しているなあ、特に今回は違うなあ」これが率直な感想です。

4つのテーマについて学生たちが発表しましたが、どれも地に足の着いた現状把握と興味深い提案を含むものでした。聞きながら、地域に何度も足を運び、市民の方々と深く交流するなかで学生が着実に成長していることを実感することしきり。また、4つの発表のうち1つは、学生と市民の共同研究の成果を披露するもので、初めての試みです。一緒に「汗を流す、ことでお互いに良い刺激となっている様子が新鮮でした。そして3つ目の進化は、このミーティングに参加した多くの市民の方が積極的に発言されたこと。しゃべりっぱなし、聞きっぱなしではなく、質問や意見、感想を交換し合う光景が実に魅力的でした。

さて、来年はどのような進化ぶりが見られるか、それが今から楽しみです。

## 茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰式



▲受賞後、橋本県知事と記念撮影をする書記の高村喜典さん（写真右）

2月21日、「農業農村シンポジウム2012」の中で開催された「茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰式」で、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる盛金1集落協定（木村重雄代表）が、特別賞の全国山村振興連盟茨城県支部長賞を受賞しました。

盛金1集落協定は、農地間が離れているうえ高低差が大きく、農地法面の管理や農作業に多大な労力がかかるなか、鳥獣害防止のための電気柵を共同で設置・管理するなど、美しい農村風景を維持していることが高く評価され、今回の受賞となりました。